

岩崎城と傍示本城をつなぐ

紅葉の秋、町の文化財めぐりに参加して日進市の岩崎城歴史記念館を訪ねました。緩い坂道のサクラ落ち葉を踏んで館内に入ると、馬上武者姿のブロンズ像「丹羽氏重」傍示本城主が迎えてくれました。

おなじみ小牧・長久手の戦い。秀吉軍は2万の大軍で岩崎城を攻む。対して徳川方氏重、紺糸威しの鎧、芦毛の馬にまたがり、手槍で奮戦するも、城外で戦死。従える兵士ら240人ことごとく死すと伝えています。



ときに氏重、数えで15歳。その若武者ぶりをしのび、あわれいとしやの情が胸に迫ります。のちに家康は、氏重の功績を大いにたたえたとされます。

東郷には、国ざかいの備えに5つの城がありました。傍示本と諸輪は、尾張と三河をまたぐ要所であったのです。

11月、同じ空の下に立って、岩崎城との関わりを学び、氏重物語に若者の姿を重ねます。

願わくば、この平成の世の平和が続くことを祈って、みんなでカメラに収まりました。

■取材 まちかどリポーター 齊藤恵津子 (部田山)



このコーナーでは「まちかどリポーター」が取材を行い、記事を作成しています。

YouTubeでも放送中

とうごうチャンネル

テーマ 新年あいさつ・子育て支援

放送日 1/4~10、18~24

時間帯 7:45~、17:30~(1日2回)

※地デジ12CHで視聴できます。(地デジで視聴するには、ケーブルテレビCCNetへの加入が必要です)

「広報とうごう」
閲覧アプリ配信中

i 広報紙

検索



▲読み取ってください

表紙の写真の説明

押草団地の自主グループが毎年作ってきた干支飾りが一周しました。詳細は10ページをご覧ください。

イベント情報

Up-and-coming event information

消費生活講演会

どうなる 私たちの暮らし

暮らしに役立つ講演会を開催します。

テレビでおなじみの森永卓郎さんと消費者問題に

ついて一緒に考えてみませんか。

▼とき 2月13日(土)

午後1時30分開場、2時開演

▼ところ いこまい館1階多目的室

▼講師 森永卓郎(東京都出身。東京大学経済学部経済学科卒業。経済アナリスト、獨協大学経済学部教授。専門は労働経済学と計量経済学)

▼定員 300人

▼入場料 無料 ※要整理券・自由席

▼整理券 いこまい館窓口で1月8日(金)午前9時から配布(1人2枚まで)

▼問い合わせ 暮らし協働課 ☎0561(38)3111(内線2185)

※当日は、公共交通機関でお越しください。

